

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	水環境創造課
職	課長
氏名	浅田 耕司

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
-----------------	--

人の健康の保護や生活環境の向上及び自然環境保全の観点から、水循環が上流域から下流域へという面的な広がり及び地表水と地下水を結ぶ立体的な広がりを有することを考慮し、公共用水域における望ましい水質の維持及び良質な水資源の確保を図る必要がある。また、地球温暖化対策の観点から、汚泥等の有機性廃棄物の処理処分から発生するメタンの排出抑制を図る必要がある。

そのために、生活排水処理施設の整備、公共用水域及び地下水の水質監視、安全・安心な飲料水の確保などに関する企画及び総合調整などの施策を講じ、本県の財産である健全な水環境の保全を目指すほか、メタンの排出抑制及び有効利用を図ることで地球温暖化防止に寄与する。



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか

豊かな水環境の保全及び地球環境の保全のため、以下の目標を設定する。

- ① 水環境の状態を示す指標が、県内全ての公共用水域で国が定める環境基準を達成する。
- ② 地域の状況に応じた生活排水処理施設整備を推進する。
- ③ 有機廃棄物由来のメタンの排出抑制及び産学官で研究開発した小規模下水処理場向けのメタン発酵技術の普及により温暖化対策を推進する。

(定量的目標)		具体的な指標、目標値を設定する			
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
① 河川、湖沼、海域でのBOD(※1)又はCOD(※2)の環境基準の達成状況	79.4%	H24 年度	90%	H22年度(※3)	石川県新長期構想
② 市町における生活排水施設整備率(汚水処理人口普及率)	91.8%	H24 年度	90%	H22年度(※4)	石川県環境総合計画、石川県新長期構想
③ 二酸化炭素排出量削減	6,376千t	H22 年度	8,015千t	H22年度(※4)	石川県環境総合計画

(※1) BOD=[生物学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)]:河川水の水質汚濁の指標。数値が高いほど汚濁が著しい。
 (※2) COD=[化学的酸素要求量(Chemical Oxygen Demand)]:海水、湖沼水の水質汚濁の指標。数値が高いほど汚濁が著しい。
 (※3) H26以降も目標達成に向け努力
 (※4) H26以降も一層の向上に向け努力

26年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 河北潟等閉鎖性水域における水質保全対策の検討	流入負荷の削減、水質浄化技術の活用、水辺環境の向上に加え、地元市町等が主体となった水環境健全活動の増進に取り組む。
② 低コストの生活排水処理施設整備の推進	郊外集落や中山間地域など整備が進まない地域においては、地域の状況に応じた低コストの生活排水処理施設整備を図るよう市町を指導する。
③ 石川モデルのメタン発酵技術の導入マニュアルの作成及びメタン活用委員会の開催、運営	石川モデルのメタン発酵技術を全国へ広く普及を図るため、導入マニュアルの作成と全国の下水道関係者に対して技術情報を発信する。